

市長と話そう、みんなで考えよう まちづくりトーク

防災マップ

逗子の 地震・津波対策

～ みんなの **命** を みんなで守る ～

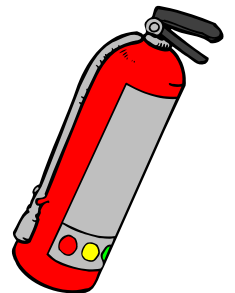
5月18日(土) 午後1時～4時

逗子小学校体育館 にて

※逗子文化プラザ・市民交流センターの1階からお入りください

防災グッズの展示販売も行います

*** 古くなった消火器の回収(有料)も行います ***



- ・定員200名(当日先着順)
- ・事前申込み不要。直接、会場へお越しください。
- ・お手数ですが、上履き(スリッパ)、靴を入れるビニール袋等をご持参ください。
- ・聴覚障がい者のための要約筆記があります。
- ・手話通訳、託児(先着5名)を希望する場合は、5月10日(金)までにお申し込みください。

主催 逗子市(問合せ 市民協働部 市民協働課)
電話 046-873-1111 FAX: 046-872-3003
E-mail: siminkyoudou@city.zushi.kanagawa.jp

逗子市では、2011年3月の東日本大震災の経験に学びながら、大地震や津波に備えて、さまざまな対策を講じてきました。

- ・「津波ハザードマップ」の改訂と全戸配布
- ・防災ハンドブックの配布
- ・津波避難訓練の実施
- ・防災行政無線子局の増設
- ・MCA無線の増設
- ・街路灯、広報板等への標高表示
- ・津波避難案内表示板の設置
- ・公共施設への戸別受信機の設置

など

しかし、行政がどんなに予算を投じ対策を講じても、それだけでは、大規模災害への備えは、十分とは言えません。まず、自分自身の安全を確保すること（自助）、市民が互いに助け合うこと（共助）なくして大切な命を守ることはできません。

今回の「まちづくりトーク」では、特に、**高齢者、障がい者、乳幼児**などのいわゆる「災害時要援護者」の命を守るため、それぞれの立場からの話もお聞きしながら、参加者の皆さんとともに、具体的な対策を考えたいと思います。

ぜひ、ご参加ください。

会場案内図

逗子文化プラザ・市民交流センターの1階からお入りください。体育館は3階です。



「まちづくりトーク」って、なに？

市長と一緒に、逗子の「まちづくり」について考え語り合う、逗子市が主催する集まりです。2012年度は、「ゼロ・ウェイスト（ゴミの減量化）」「地域自治」「池子の森（米軍住宅地区共同使用予定地）」「子育て」などをテーマに、計10回開催しました。

子どもから大人まで、逗子のまちづくりに関心を持つ人であれば、どなたでも参加することができます。行政から市民に向けての一方向的な説明会ではなく、そこに集まった人たちが、それぞれの立場から多様な意見を出し合うことで、豊かなまちづくりを進めていくことを目指しています。

2012年5月の

「まちづくりトーク」の様子

逗子の地震・津波対策 ～ 私たちは今、何をすべきか ～



災害時の避難所となる逗子小学校の体育館
約200人の市民が参加して行われました

- ・全員が発言する
- ・市民も市の職員も一緒に知恵を出し合う
- ・記録に残し、市政に活かす



後半は、グループに分かれて意見交換
市長、副市長のほか、約30名の市の職員も話の輪に加わりました



ここで出た意見を逗子市の災害対策に活かすため
模造紙に書き出していました